



11月に入り寒暖の差が大きくなり、体調管理が難しくなってきました。
手洗い、うがいなどをしっかりして気をつけましょう！！

今月は、楽しみにしていた“お茶を点てる”ことに挑戦しました。
初めて触れるお茶筥（お茶を点てる道具）、実際にお抹茶とお湯の入ったお茶碗を目の前に、ドキドキ緊張しながらも、持ち方や動かし方を教えてもらい『シャカシャカシャカ…』、最初は手やうでに力が入り苦労しましたが、先生のお手本を見たりアドバイスをもらって、徐々においしそうな泡がたつてきてとっても嬉しそうな子ども達でした。



- ・ぎんなん
- ・いちょう



- ・ホトトギス



お茶筥は、下の太い部分を持ちます



先生のように、シャカシャカ音をたてて



お茶筥を（数字の1を書くように）上下に動かしましょう！
もう少し力を抜いて…



上手にできました



自分で点てたお茶をお友達へ



みんな、残さずきれいに飲んでいました



「お友達が点ててくれたお茶おいしかった人！」「は〜い！」

* 豆知識—お茶の歴史 (2) 「茶道のはじまり」

お茶が中国から伝わってぜいたくなものとして飲まれていたものを、室町時代に村田朱光^{むらたしゅこう}という人が、禅宗の精神にそった簡素で落ち着いた四畳半の狭い草庵^{そうあん}での茶(わび茶)を考え出されました。それを茶道として確立させたのが千利休^{せんりのきゅう}という人です。

千利休が「和・敬・清・寂」の目標を立てたお茶の心は、裏千家 16 代家元の現在に至るまで脈々として引き継がれています。

子供たちと一緒にお茶のおけいこを通して、少しでも“和敬清寂”のお茶の心を学び、きれいな気持ちで暮らしたいものです。